

北イタリア安全対策情報
2019年10月～12月

1 治安情勢

ミラノ市内では、地下鉄等を中心に複数の女性による集団スリが多数発生してきたが、12月の当地報道によれば、治安当局がこの組織を検挙・解体した模様である。これが直接影響したか判然としないが、当館認知のスリ被害件数が10月に17件であったものが、12月には4件と減少した。

イタリア国内でテロの発生はなかったが、治安当局では、11月29日、英国ロンドン橋発生の特ロ事件（死亡2名、負傷3名）を受けて、警戒レベルを上げており、予断を許さない状況が続いている。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

ミラノ地下鉄内でのスリ被害が多数発生したほか、飲食店、ブティック店内等での置き引き被害の発生が顕著であった。

(1) スリ28件（参考：7月～9月は30件）

ア 地下鉄電車内で女性に電車の行き先を尋ねられている隙に、他の女性にバッグ内から旅券等を擦られた（複数）。

イ ミラノ中央駅タクシー乗り場で、片手にジャケットを所持した女性にバッグ内から旅券等在中のポーチを擦られた。

ウ ミラノ市内のブティック店内にて、靴の試し履きをしていた際、背部に回していたショルダーバッグ内から旅券等を擦られた。

エ ベネチアのリアルト橋付近を散策中、背負っていたバックパック内から、旅券等在中の財布を擦られた。

オ ベローナ市内のショッピングモールで混雑している中、バッグ内から旅券等を擦られた。

カ トリノ市内にて満員のトラムに乗車中、背負っていたリュックサックの外ポケット内から旅券等を擦られた。

(2) 置き引き6件（同12件）

ア 長距離列車内（チューリッヒ～ミラノ間）で午睡中、荷物棚に置いたリュックサックが盗まれた（複数。他駅間でも発生）。

イ ミラノ市内のレストランで食事中、隣席に置いたバッグが盗まれた。

ウ ミラノ市内のホテル前で、レンタカーに荷物を積み込んでいたところ、近づいてきた男性にタイヤを指さし声をかけられた際に、車内からバックが盗まれた。

(3) 車上狙い1件（同3件）

バレーゼのレストランで食事中、路上に駐車していた車両の窓ガラスが割られ、トランク内から旅券等在中のバッグが盗まれた。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人の被害認知なし。日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおり。

(1) 殺人未遂

11月24日(日)

ミラノ中央駅近くの広場にて、セルビア国籍男性1名が若い女性の頭部をレンチで殴打した殺人未遂容疑で、警察に逮捕された。

(2) 強盗

12月3日(月), 6日(金), 7日(土)

ミラノ中心部より北西約6キロメートルに位置するガレニャノ地区のペット用品店等において、イタリア国籍の男性による拳銃使用強盗事件が断続的に発生。その後の捜査により犯人は逮捕され、使用された拳銃は玩具であることが判明。警察は共犯者もいるものとみて、捜査を継続。

(3) 性犯罪

10月12日(土)～13日(日)

ミラノ中心部センピオーネ公園の緑地帯において、21歳の男性がドミニカ国籍の女性を強姦したとして、警察に逮捕された。被害女性は同公園内にあるディスコに来ており、被害当時酩酊状態だった模様。

4 テロ・爆弾事件発生状況

11月6日、ピエモンテ州アレッサンドロ県所在の空き家で時限装置利用の爆発事件が発生し、臨場した消防団員3名が死亡した。その後の捜査により、家主の保険金目的の犯行と判明。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

特になし

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし